

京葉分会だより

DAI
65号

2019年7月1日
発行

新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場



ハツ場ダム・2019年度完成予定

目 次

・署長ご挨拶 船橋労働基準監督署長	1	・建設現場安全パトロール	12
・令和元年度 京葉分会通常総会	2	・管外事業所見学会	13
・平成30年度 事業実施報告	3	・特集：建設業の経営戦略	14
・平成30年度 建災防・京葉分会収支決算書 ..	4	・特集：ちょっとここだけの話	15
・令和元年度 事業計画	5	・特集：わたしの1ページ	16
・令和元年度 建災防・京葉分会収支予算 ..	6	・特集：あなたの近くの素敵なお店	17
・労働基準監督署 職員紹介	7	・詰将棋&まちがい探しクイズ	18
・労働基準監督署からのお知らせ	8-10	・雑感：「ハタケ」スポーツ編	19
・千葉県支部通常総会	11	・事務局からのお知らせ	19

建設業労働災害防止協会千葉県支部京葉分会

www.kensaibo-keiyo.com



全国安全週間にあたって

船橋労働基準監督署 松 崎 勉

平素から建設業労働災害防止協会京葉分会の会員の皆様方には当署の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当署では今年度も「すべての人が安心、安全、安定して働ける社会^{ちば}をめざして」を行政運営基本方針として働き方改革を推進するために次の3項目を重点施策としています。

- ① 長時間労働の抑制及び基本的労働条件の確保・改善対策
- ② 第13次労働災害防止計画達成に向けた労働者が安心して働くことのできる職場環境の整備
- ③ 労災補償の迅速・適正な処理及び労働保険適用徴収業務の推進

さて、上記施策のひとつである労働災害防止に関してですが、当署管内における平成30年の休業災害（休業4日以上）は1,545件となりました。最近5年間の平均が1,405件ですので、昨年は労働災害が非常に多かった年でしたが、さらに今年は昨年をも上回るペースで発生件数が推移している等、厳しい状況が続いています。

このような現状を踏まえ、労働災害の減少を図るために、今年も7月1日からは「新たな時代に PDCA みんなで築こう ゼロ災職場」をスローガンに第92回の全国安全週間が展開されます。スローガンには築くとの文言がありますが、元々「安全」はこの世の中にはありません。身の回りに常に存在するのは「危険」だけです。この危険をどうするかが「安全」です。ですから、ぼんやりして安全を作らないとすべて回りは危険だらけになってしまいます。現場で建築物や構造物を作るように、職場の安全担当者が安全を作っているのです。つまりスローガンで言うところの安全を築いているわけですので、これからはがんばってください。

ところで、近年、山岳遭難が増加しています。今年のゴールデンウィーク期間の山岳遭難の発生状況は遭難者が207人で、うち死者が23人、負傷者は76人となりました。なんと10日間で23人が亡くなっているのです。救助された人の多くは「まさか、自分が遭難するなんて思っていなかった。」と話すそうですが、どこかに油断があったのかもしれません。もちろん油断は禁物です。注意一秒、怪我一生といいますが、日頃から注意力を高めておいてこそ、初めて一秒の注意が可能となります。人間の頭は何かを見て、判断して、決定するという情報処理を行います。外部からの情報は大量で、特に目からは多くの情報が入ってきます。一方、頭の中で判断する対象は、たったひとつです。つまり照準を合わせたところしか見えません。外側から入ってくる情報の1000万分の1にしか反応していないそうです。ですから一秒の注意を的確に直面する危険に合わせられる能力が重要となります。このことで私が「ミスター指差呼称」と名付けた人の話をしたいのですが、少し長くなりますので、またの機会に。

包丁を使う時の戒めで「上手切らずに下手切らず」の例えもあります。会員の皆さまには今後とも油断のない安全管理でゼロ災職場を築いていただくようお願いします。

最後に、京葉分会並びに会員事業場の益々のご発展を祈念いたしまして、全国安全週間にあたってのあいさつとさせていただきます。

令和元年度 建災防千葉県支部京葉分会通常総会



去る5月17日、浦安市浦安ブライドンT O K Y O B A Yにおいて建設業労働災害防止協会【建災防】千葉県支部京葉分会の令和元年度通常総会が開催されました。

冒頭、あいさつに立った石神分会長は管内建設業で昨年、1件の死亡災害が発生したことに対し、「大変残念なこと」と沈痛な面持ちで報告。建設技能者の高齢化や団塊の世代の大量退職などによるノウハウ喪失下で、新規入職者や若手見習工等の増大が予想されるなど「我々建設業に従事する方々の安全と健康を取り巻く環境が厳しさを増しつつある」との警鐘を鳴らした。一方、建設業地域社会への貢献が名実ともに増えている中で京葉分会の役割について石神分会長は、「会員全体が死亡事故ゼロ、無事故無災害を祈念し、一致協力して取り組み、その責任を果たすことが肝要である」と主張。会員に対して「今一度、死亡災害ゼロを目指すために皆さんの協力を賜りたい」と呼びかけ、あいさつとした。

続いて、議長として不二公業㈱の小原智が選出され、第1号議案「平成30年度事業報告及び収支決算報告」について、第2号議案「令和元年度事業計画（案）及び収支予算（案）」についての議案等が慎重審議のうえ、満場一致にて可決承認されました。議案審議終了後、基準監督署署長松崎勉様よりあいさつ。

この席で松崎署長は「分会の活動こそが会員各位の安全衛生活動のさらなる向上に繋がるもの」とし「昨年度と同様に活発な活動をお願いしたい」と鼓舞。一方、昨年の管内建設業における災害については、高さ3.5mの梯子からの墜落や、基礎工事の掘削における切り張りの上から4.6m下に墜落により、いずれも大怪我となった休業災害事例を紹介。「何と言っても、建設業の災害防止の一丁目一番は墜落防止対策だと考えている」とした松崎署長は、監督

署での現在の最重点課題にある過重労働の問題も含めて「今後においても、油断のない安全管理をお願いしたい」と要請。

最後に「今後とも京葉地域をはじめ、ひいては千葉県内の建設業を牽引していく分会であり続けていただきたい」と呼びかけ、祝辞とした。



県災防千葉県支部からも神田公人事務局長が駆け付けてあいさつ。昨年の県内建設業における死亡災害が10件となり過去最少記録である一昨年の数字と並んだことを報告。しかし、念願である1桁には届いていないことに対して「近隣の埼玉県支部と神奈川県支部では、過去に2度ずつの一桁を達成している」と指摘。「千葉県支部で出来ない理由は見当たらない」と述べ、死亡災害一桁達成への士気を鼓舞した。さらに「千葉労働局及び船橋労働基準監督署においては、建設業を『最重点対象業種』として、業界に対して様々な働きかけや指導があると聞く」とした神田事務局長は、会員に対して「引き続き、働く人の安全と健康の確保について最大限の努力をお願いする」と要請し祝辞を結んだ。その後、懇親会へ移り、和やかな雰囲気のもと令和元年度通常総会を無事終了した。

議題第1号

平成30年度事業実施報告

建災防の目標である建設業における労働災害の死亡災害ゼロを目指したところですが、京葉分会の死亡災害は、平成30年(暦年)における分会別、月別死亡災害発生状況によると、平成29年3件に対し平成30年では、1件発生し2件の減となりましたが、死亡災害は0件とはならず残念な結果となっていました。当京葉分会における平成30年度の事業活動状況は、当初事業計画に基づき、会員の皆様方のご協力のもと、下記のとおりに実施しましたので報告いたします。

1. 理事会及び総会の実施

- ア. 第1回 理事会
実施日 平成30年4月24日(火) --- (京葉建設会館)
1. 総会議案について
(1) 平成29年度の事業報告及び収支決算報告について
(2) 平成30年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について
(3) 役員改選(案)について
- イ. 通常総会
実施日 平成30年5月18日(金) ---- (浦安ブライトンホテル東京ベイ)
第1号議案 平成29年度事業報告及び収支決算報告について
第2号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
第3号議案 役員改選(案)について
- ウ. 第2回 理事会
実施日 平成30年6月8日(金) ---- (京葉建設会館)
議 題
(1) 第55回全国大会in横浜の実施計画(案)について
(2) 合同研修旅行(案)について
(3) 優良事業所見学会(案)について
(4) 第23回京葉分会建設業労働災害安全大会(案)について
(5) 平成30年度第1回安全パトロールについて
(6) 平成30年度業種別死亡災害発生状況について
- エ. 第3回 理事会
実施日 平成30年11月29日(木) ---- (京葉建設会館)
議 題
(1) 平成30年度建災防千葉県支部京葉分会実施中間報告について
(2) 平成30年度建災防千葉県支部京葉分会予算執行状況について
(3) 第23回建災防京葉分会安全大会結果について
(4) 安全祈願祭の実施について
(5) 死亡災害発生状況等について
(6) 平成31年度事業計画(案)について

2. 広 報 関 係

- ア. 「分会だより」の発行
(1) 第63号 平成30年7月1日発行 400部
(2) 第64号 平成31年1月1日発行 400部
- イ. 広報委員会の開催 ----- (京葉建設会館)
(1) 平成30年 5月16日(水) 京葉分会だより企画検討委員会を開催した。
(2) 平成30年 6月15日(金) " 編集委員会を開催した。
(3) 平成30年 7月20日(金) " 編集委員会を開催した。
(4) 平成30年10月31日(水) " 編集委員会を開催した。

3. 各種大会及び説明会関係

- ア. 全国安全週間実施要領説明会
実施日 平成30年6月14日(木) ----- (京葉建設会館)
平成30年度の全国安全週間は、「新たな視点でみつめる職場 創意と工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」をスローガンのもとに、平成30年6月1日(金)から6月30日(土)までを準備期間とし、平成30年7月1日～7日までを本週間として展開されるので、この実施要領の説明会を開催した。船橋労働基準監督署松崎署長から挨拶があり、実施要領、労働災害の発生状況、労働災害防止対策、安全管理体制の確立等について、石井安全衛生課長から説明を頂きました。
また、説明会の後、「知って防ごう熱中症」をテーマに大塚製薬(株)ニュートランシュエティカルス事業部営業開発担当課長の高井利夫氏を招聘しての特別講演を実施した。

(参加者40社 41名)

- イ. 千葉県建設業労働災害防止大会
実施日 平成30年7月6日(金) ----- (京成ホテルミラマール)
千葉県建設業労働災害防止大会(第36回)が、「組織で進める安全管理 みんなで取り組む安全活動 未来へつなげよう安全文化」をスローガンに開催された。

(参加者30社 36名)

- なお、建設業労働災害防止協会千葉県支部長から、
1. 優良賞(会社) 若潮建設 株式会社
2. 功労賞(個人) 荒井篤士氏 株式会社 荒井造園土木
福田和洋氏 株式会社 和洋建築
松倉年繁氏 松倉工業 株式会社

が受賞された。

- ウ. 全国労働衛生週間説明会
実施日 平成30年9月13日(木) ----- (京葉建設会館)
平成30年度全国労働衛生週間は、平成30年10月1日から7日まで、「ここからたの健康づくり みんなで進める働き方改革」をスローガンのもとに展開されるので、この実施要領の説明会を開催した。
船橋労働基準監督署の松崎署長から挨拶があり、特別講演として、産業医として活躍の秀英クリニックの院長の岩澤秀明先生を招聘して「慢性腎臓病を知っていますか?糖尿病を中心に」について、の講演して頂きました。
その後、石井安全衛生課長から平成30年度の実施要領の説明、健康診断の実施、熱中症の予防についての説明を頂きました。

(参加者35社 36名)

- エ. 全国建設業労働災害防止大会
実施日 平成30年9月20日(木) ----- パシフィコ横浜 展示ホールD
「第55回全国建設業労働災害防止大会in横浜」が開催された。
災害防止に多大な貢献を果たした方々への各種表彰が行われ、当分会からは、
1. 優良賞(会社) 高根建設株式会社 (船橋市)
2. 個人賞(功労) 石井治一氏 (市川建設株式会社)
田久保浩一氏 (田久保建設株式会社)が受賞されました。

(参加者26社 26名)

- オ. 第23回京葉分会労働災害防止大会(準備)
1. 実行委員会・実施日 平成30年9月13日(木) ----- (京葉建設会館)
(1) 安全大会実行委員及び役割分担について
(2) 講師候補者(案)について
(3) 安全大会予算(案)について
(4) 安全大会プログラム(案)について
(5) 招待者及び出席要請団体(案)について
(6) 祝辞の依頼について
(7) 大会宣言について
(8) 年間無災害表彰の申告について
(9) 次回実行委員会日程について
2. 第23回京葉分会労働災害防止大会(当日)
実施日 平成30年11月21日(水) ----- (船橋グランドホテル)

開会に先立ち、労働災害で亡くなられた関係者を偲び黙祷し、石神分会長からの挨拶で始まり、本年度のスローガンは、「新たな視点でみつめる職場 創意工夫で安全管理 惜しまぬ努力で築くゼロ災」をもとに開催した。

来賓の方々を代表して、船橋労働基準監督署松崎署長、八千代市長 服部友則氏、葛南土木事務所長島博之所長、建災防千葉県支部神田公司事務局長から挨拶を頂くとともに、来賓並びに会員その他多数の参加を得られました。

続いて、平成28年4月から平成30年3月までの2年間無災害事業場に対して石神分会長から表彰が行われ、21社に授与されました。
受賞事業所は次のとおりです。

- ・船橋市
(株)船橋電気工事 越中電気工業(株)
(株)風間建設工業所 (有)宮下工務店
ソニック設備工業(株) (株)シモンソー 共立電設(株)
古橋工業(株) 東武工業(株)
(株)ネオテック
- ・市川市
(株)秋元 ㈱千葉水道工務店
(株)盛電社 テックウエエンジニアリング(株)
(株)中川組 アサヒ設備(株)
千葉ロードサービス(株) 上條建設(株)
- ・浦安市
尾頭建設
八千代市
(株) (株)齊藤壺泉管工
習志野市
(株)習志野工業

(株)中川組 代表取締役社長の中川実氏(代理)が受賞者を代表し謝辞を述べ、その後、中川安全大会副実行委員長から、労働災害を一掃すべく、大会宣言がおこなわれ、第1部が終了した。
第2部では、落語家の三遊亭多歌大師匠を講師にお迎えし、笑顔の効用～思いやりのコミュニケーションが安全を～と題して特別講演を行い、労働災害の防止に必ずや役に立つ、ユニークな講演が行われ、そのあと恒例の福引抽選会を行い盛会のうちに閉会した。

(参加者130名)

- カ. 千葉県産業安全衛生大会(第68回) ----- (千葉市民会館)
実施日 平成30年10月4日(木) ----- (千葉市民会館)
平成30年度千葉県産業安全衛生大会が開催された。
(参加者3社 3名)

4. 各種パトロール等

- ア. 建設現場パトロール
第1回パトロール 実施日 平成30年6月27日(水)
1班～3班の班編成合同で、船橋労働基準監督署石井安全衛生課長同行のもと実施した。終了後、検討会を行った。
・第1班 ①国道357号線市川共同溝補強その10他工事
②江戸川幹線左岸流域下水道管渠渠築造工事
①日鉄住金鋼板(株)船橋製造所GL既設ライン・ビット撤去
・第2班 ②(仮称)前田道路株式会社船橋合材工場 作業所
①(仮称)新習志野西浜地区倉庫新築工事
・第3班 ②(仮称)第2倉場新築建築工事
(参加者25社 25名)

- 第2回パトロール 実施日 平成30年12月6日(木)
1班～3班の班編成合同で、船橋労働基準監督署石井安全衛生課長同行のもと実施予定
・第1班 ①(仮称)鬼高4丁目プロジェクト新築工事
②(仮称)後藤様相之川4丁目プロジェクト新築工事
・第2班 ①国分グループ本社棟殿 船橋日の出 冷凍倉庫計画
②新湊大橋橋梁補修工事(その3)
・第3班 ①(仮称)谷津店建替え新築工事
②MrMax新習志野SC改修工事
(参加者25社 25名)

- イ. 公共工事発注機関労働災害防止連絡協議会
平成30年度公共工事発注機関労働災害防止連絡協議会の総会、研修会及び合同パトロールが実施された。

- 総会
1. 日時 平成30年7月4日(水) 14:00～
2. 会場 浦安市文化会館 3階中会議室
3. 議題 (1) 議案1 平成29年度活動報告
(2) 議案2 平成30年度事業計画(案)
(3) 議案3 役員改正(案)

- 研修会
1. 日時 平成30年10月3日(水) 14:00～
2. 場所 葛南教育事務所 1F 大会議室
3. 内容 建設業における労働災害防止について

- パトロール
1. 実施日 平成30年11月7日(水) ----- (集合場所・葛南土木事務所)
2. 実施場所と参加者
第1班 市川方面 市川市立福栄小学校外壁及び屋上フェンス工事
武内建設(株) 和田健吾氏、
第2班 船橋方面 臨海3号幹線管渠敷設工事
京成建設(株) 藤木龍一郎氏、
第3班 浦安方面 舞浜地区道路災害復旧工事
(株)鹿野建設 森田 力氏

5. 優良事業所見学会

山梨県都留市にある山梨県立リニア見学センターを見学した。このセンターは、山梨リニア実験線の走行試験の開始に合わせて開館した県立の博物館型見学施設で、新設された「どきどきリニア館」では、1階入口には、2003年に世界最高速度581kmを記録した試験車両の実物をシンボル展示を見学した。

実施日 平成30年12月11日(火) ----- (山梨県都留市)
見学場所 「山梨県立リニア見学センター」
(参加者31社 31名)

6. 安全祈願祭

平成31年頭にあたり、工事の無事息災を祈る安全祈願祭を行い、併せて会員相互の親睦を図るため実施した。
実施日 平成31年1月23日(水) ----- (成田山新勝寺)
(参加者40社、46名)

7. 合同研修会の実施

- ・京葉建設業センターとの合同研修会
全国建設業労働防止大会が横浜で行われたため、合同研修旅行は奥湯河原方面にて実施した。
実施日 平成30年11月4日(日)～5日(月)
場 所 奥湯河原方面
(参加者35社 35名)

以上

平成30年度 建災防・京葉分会収支決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

Ⅰ. 収入の部

(単位:円)

科 目	30年度予算	30年度決算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	(B) の説明
01. 会費・有期会費	14,250,000	13,511,800	△ 738,200	303会員・県外事業者
02. 手数料収入	75,000	44,500	△ 30,500	加入証明89社
03. 各種助成金	350,000	350,000	0	安全大会、木建協
04. 雑 収 入	30,000	151,008	121,008	来賓会費等
合 計	14,705,000	14,057,308	△ 647,692	

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

科 目	30年度予算	30年度決算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	(B) の説明
05. 安全祈願祭	240,000	252,980	12,980	成田山新勝寺
06. 現場パトロール費	800,000	748,134	△ 51,866	出動手当、燃料代、昼食代
07. 分会・安全大会費	1,200,000	1,137,112	△ 62,888	会場借上、講師謝金等
08. 諸講習会費	10,000	0	△ 10,000	
09. 全国・安全大会費	850,000	701,160	△ 148,840	横浜大会・研修旅行参加費用
10. 広報宣伝費	1,200,000	1,197,852	△ 2,148	分会便り印刷代、会議費等
11. 安全衛生週間費	350,000	426,680	76,680	ポスター配布等
12. 県外事業所見学会	450,000	500,505	50,505	県外優良事業所見学
13. 交 際 費	100,000	10,000	△ 90,000	
14. 通常総会費	550,000	565,910	15,910	浦安ブライトンホテル
15. 役員会議費	100,000	119,695	19,695	昼食代等
16. 千葉県支部負担金	3,000,000	2,859,000	△ 141,000	千葉県支部へ負担金
17. 事務局運営負担金	5,000,000	5,000,000	0	京葉建設業組合事務負担金
18. 団体負担金	50,000	50,000	0	葛南木建協
19. 図書印刷費	250,000	268,397	18,397	封筒印刷等・名簿作成
20. 備消耗品費	135,000	135,803	803	事務用品
21. 通信運搬費	410,000	542,292	132,292	郵便分発送
22. 旅 費	5,000	17,010	12,010	
23. 諸 雑 費	5,000	16,709	11,709	
合 計	14,705,000	14,549,239	△ 155,761	

Ⅲ. 繰越の部

(単位:円)

科 目	30年度予算	30年度決算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	
当期差額=Ⅰ-Ⅱ	0	△ 491,931	△ 491,931	
前年度からの繰越額	7,600,468	7,600,468	0	
次年度への繰越額	7,600,468	7,108,537	△ 491,931	

議題第2号

令和元年度事業計画

建災防の目標である建設業における労働災害の死亡災害ゼロを目指して、当京葉分会における令和元年度の事業計画を下記の事業を実施してまいりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

記

1. 理事会及び総会の実施

ア. 第1回 理事会

実施日 平成31年4月23日(火)---- (京葉建設会館)

議 題

(1) 平成30年度の事業報告及び収支決算報告について

(2) 令和元年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について

イ. 通常総会

実施日 令和元年5月17日(金)----- (浦安ブライトンホテル東京ベイ)

議 題

(1) 平成30年度の事業報告及び決算報告について

(2) 令和元年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について

ウ. 第2回 理事会

実施日 令和元年6月7日(金)予定 ---- (京葉建設会館)

議 題

(1) 令和元年度建災防千葉県支部京葉分会実施計画(案)について

ア. 各種大会関係について

・第24回京葉分会労働災害防止大会実行委員会

・第56回全国建設業労働災害防止大会in福岡

イ. 各種パトロール関係について

・建設現場安全パトロールの実施

ウ. 講習会関係について

エ. 第3回 理事会

実施日 令和元年12月予定 ---- (京葉建設会館)

(1) 令和元年度建災防千葉県支部京葉分会中間実施報告について

(2) その他

ア. 新規会員加入促進キャンペーンの実施について

イ. 安全祈願祭の実施

2. 広 報 関 係

ア. 「分会だより」の発行

(1) 第65号 令和元年7月1日発行 400部

(2) 第66号 令和2年1月1日発行 400部

イ. 広報委員会の開催 ----- (京葉建設会館)

第1回編集委員会 令和元年 5月14日(火)開催予定

第2回編集委員会 令和元年 6月14日(金) "

第3回編集委員会 令和元年 7月19日(金) "

第4回編集委員会 令和元年11月29日(金) "

ウ. 京葉分会ホームページの利用促進

3. 各種大会及び説明会関係

ア. 全国安全週間実施要領説明会

実施日 令和元年6月13日(木)予定 ----- (京葉建設会館)

イ. 千葉県建設業労働災害防止大会

実施日 令和元年7月5日(金) ----- (京成ホテルミラマーレ)

千葉県建設業労働災害防止大会(第37回)

ウ. 全国労働衛生週間説明会

実施日 令和元年9月12日(木)予定 ----- (京葉建設会館)

エ. 第56回全国建設業労働災害防止大会in福岡

実施日 令和元年9月26日(木)~27日(金)---- 福岡国際センター

オ. 第24回京葉分会労働災害防止大会

実行委員会 大会準備

実施日 令和元年9月12日(木)予定 ----- (京葉建設会館)

(1) 安全大会実行委員及び役割分担について

(2) 講師候補者(案)について

(3) 安全大会予算(案)について

(4) 安全大会プログラム(案)について

(5) 招待者及び出席要請団体(案)について

(6) 祝辞の依頼について

(7) 大会宣言について

(8) 年間無災害表彰の申告について

(9) 次回実行委員会日程について

(10) その他

カ. 第24回京葉分会労働災害防止大会(当日)

実施日 令和元年11月22日(金)予定

場 所 浦安ブライトンホテル東京ベイ

キ. 千葉県産業安全衛生大会(第67回)

実施日 令和元年10月21日(月)予定 ----- (千葉市民会館)

4. 各種パトロール等

ア. 建設現場パトロール

第1回パトロール

実施日 令和元年6月27日(木)予定 -----

第2回パトロール

実施日 令和元年12月5日(木)予定 -----

イ. 公共工事発注機関労働災害防止連絡協議会

令和元年度公共工事発注機関労働災害防止連絡協議会が研修会及び合同パトロールの実施

担当 葛南土木事務所

総会

実施日 令和元年7月3日(水)予定 -----

5. 優良事業所見学会

実施日 令和元年12月10日(火)予定 -----

横浜市 スマートウェルネス体感パビリオン見学

6. 安全祈願祭

労働災害撲滅を祈願するため、成田山新勝寺において安全祈願祭を実施

実施日 令和2年1月24日(金)予定 ----- (成田山)

7. 研修会の実施

本年度は、全国建設業労働災害防止大会in福岡が9月博多で開催の為、(一社)建設業協会京葉支部と合同の研修会を下記により実施する。

実施日 令和元年9月26日(木)~28日(土)予定

場 所 博多・山口方面

以上

令和元年度 建災防・京葉分会収支予算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

Ⅰ. 収入の部

(単位:円)

科 目	30年度決算	令和元年度予算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	(B)の説明
01. 会費・有期会費	13,511,800	13,500,000	△ 11,800	303会員・県外事業者
02. 手数料収入	44,500	150,000	105,500	加入証明300社
03. 各種助成金	350,000	350,000	0	安全大会、木建協
04. 雑 収 入	151,008	150,000	△ 1,008	来賓会費等
合 計	14,057,308	14,150,000	92,692	

Ⅱ. 支出の部

(単位:円)

科 目	30年度決算	令和元年度予算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	(B)の説明
05. 安全祈願祭	252,980	250,000	△ 2,980	成田山新勝寺
06. 現場パトロール費	748,134	750,000	1,866	出動手当、燃料代、昼食代
07. 分会・安全大会費	1,137,112	1,200,000	62,888	会場借上、講師謝金等
08. 諸講習会費	0	10,000	10,000	
09. 全国・安全大会費	701,160	1,100,000	398,840	博多大会・研修旅行参加費用
10. 広報宣伝費	1,197,852	1,200,000	2,148	分会便り印刷代、会議費等
11. 安全衛生週間費	426,680	400,000	△ 26,680	ポスター配布等
12. 県外事業所見学会	500,505	500,000	△ 505	県外優良事業所見学
13. 交 際 費	10,000	30,000	20,000	
14. 通常総会費	565,910	400,000	△ 165,910	浦安ブライトンホテル
15. 役員会議費	119,695	100,000	△ 19,695	昼食代等
16. 千葉県支部負担金	2,859,000	3,000,000	141,000	千葉県支部へ負担金
17. 事務局運営負担金	5,000,000	5,000,000	0	京葉建設業組合事務負担金
18. 団体負担金	50,000	50,000	0	葛南木建協
19. 図書印刷費	268,397	150,000	△ 118,397	封筒印刷等
20. 備消耗品費	135,803	20,000	△ 115,803	事務用品
21. 通信運搬費	542,292	460,000	△ 82,292	郵便分発送
22. 旅 費	17,010	15,000	△ 2,010	
23. 諸 雑 費	16,709	15,000	△ 1,709	
合 計	14,549,239	14,650,000	100,761	

Ⅲ. 繰越の部

(単位:円)

科 目	30年度決算	令和元年度予算	差 額	備 考
	(A)	(B)	(B) - (A)	
当期差額=Ⅰ-Ⅱ	△ 491,931	△ 500,000	△ 8,069	
前年度からの繰越額	7,600,468	7,108,537	△ 491,931	
次年度への繰越額	7,108,537	6,608,537	△ 500,000	

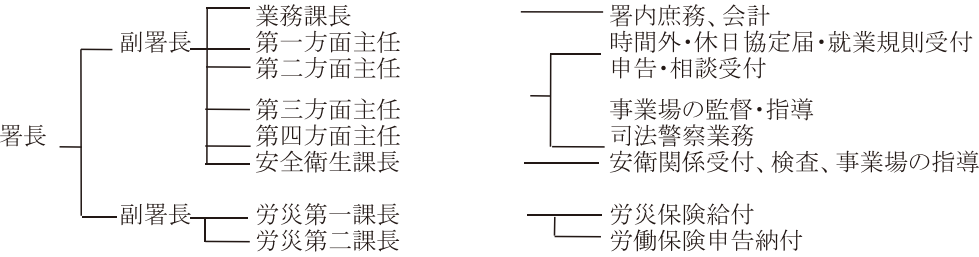
令和元年度

船橋労働基準監督署職員紹介

令和元年度の職員を紹介します。

署 長 松崎 勉			副署長 小菅 拓也			副署長(労災担当) 安藤 正一		
第一方面	方面主任監督官 竹中 広治郎 労働基準監督官 岡本 渚 労働基準監督官 伊藤 綾美	担当業務 ・就業規則、36協定等の受付 ・解雇・賃金不払・労働時間等に係る申告処理、相談対応 ・事業場への監督指導・司法警察業務 ・労働時間相談・支援	業務課	課長 石田 祥子	担当業務 ・庶務・会計 ・庁舎管理			
第二方面	方面主任監督官 工川 裕 労働基準監督官 北谷 晶		安全衛生課	課長 鈴木 毅 安全専門官 朝生 和弥 安全専門官 中山 昂 労働基準監督官 村上 夏実	担当業務 ・労働者死傷病報告、健診結果報告等の受付 ・計画届、設置報告受付・審査 ・ボイラー・クレーン等の検査 ・安全衛生指導、災害調査			
第三方面	方面主任監督官 坂本 知穂 労働基準監督官 南 聡一郎 労働基準監督官 熱田 勇輝		労災第一課	課長 稲村 英樹 労災給付調査官 橋本 和文 補償係長 新井 紀子 補償係長 橘 英美 労働基準監督官 種本 佑哉 厚生労働事務官 石上 諒 厚生労働事務官 大野 美咲	担当業務 ・労災保険の成立 ・労働保険料の申告、納付 ・労災保険請求の受理			
第四方面	方面主任監督官 五十嵐 雅俊 労働基準監督官 相原 隆二		労災第二課	課長 戸村 勝 補償係長 加藤 英樹 厚生労働事務官 宮城 拓矢	・各種補償給付金事務			

船橋署の組織と業務内容



伐木作業等の安全対策の規制が変わります！

～ 伐木作業等を行うすべての業種が対象 ～

今回の改正の主な内容

1. チェーンソーによる伐木等の業務に関する特別教育について、伐木の直径等で区分されていた特別教育を統合し、時間数を増やします。

(安衛則、安全衛生特別教育規程(昭和47年労働省告示第92号。以下「特別教育規程」という。)の改正)

2. 伐木作業等における危険を防止するために、以下のとおり規定します。

(安衛則の改正)

- (1) 受け口を作るべき立木の対象を胸高(きょうこう)直径40cm以上のものから20cm以上に拡大する等、立木の伐倒時の措置を義務付けます。
- (2) 事業者に対して、かかり木の速やかな処理を義務付けるとともに、事業者及び労働者に対して、かかり木の処理における禁止事項を規定します。
- (3) 事業者は、立木の高さの2倍に相当する距離を半径とする円形の内側には、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者を立ち入らせてはならないこと等を規定します。
- (4) 事業者は、チェーンソーによる伐木作業等を行う労働者に下肢の切創防止用保護衣を着用させること、また、当該労働者に、当該切創防止用保護衣を着用することを義務付けます。

3. その他の改正を行います。

1. 特別教育(安衛則第36条、特別教育規程第10条)関係

- 伐木の直径等で区分されている、チェーンソーによる伐木等の業務に係る特別教育を統合します。
また、統合後の特別教育の時間数を増やします。
既に特別教育を修了している方(※)は、統合後の特別教育の科目の一部の受講が免除されます。

(※) 伐木等の業務に係る特別教育の科目について、十分な知識及び経験を有していると認められる以下の労働者

- ① 改正前の安衛則第36条第8号に定める特別教育(※1)(ただし、チェーンソーに関する知識の科目、振動障害及びその予防に関する知識の科目を含む。)を修了した労働者
- ② 改正前の安衛則第36条第8号に定める特別教育(※1)(ただし、チェーンソーに関する知識の科目、振動障害及びその予防に関する知識の科目の双方を除く。)を修了した労働者
- ③ 改正前の安衛則第36条第8号の2に定めるチェーンソーを用いて行う立木の伐木等の業務に関する特別教育(※2)を修了した労働者

なお、改正による新たな特別教育の適用日(平成32年8月1日)より前に、改正後の特別教育の科目の全部又は一部について受講した方は、当該受講した科目を適用日以降に再度受講する必要はありません。

(※1) 胸高直径が70cm以上の立木の伐木、胸高直径が20cm以上で、かつ、重心が著しく偏している立木の伐木、つりきりその他特殊な方法による伐木又はかかり木でかかっている木の胸高直径が20cm以上であるものの処理の業務(伐木等機械の運転の業務を除く。)

(※2) チェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務(※1の業務を除く。)

【受講を省略できる条件】

この内容の施行日は **2019(平成31)年8月1日** です。

施行期日

(一部の規定※は公布日、特別教育の部分は2020(平成32)年8月1日)

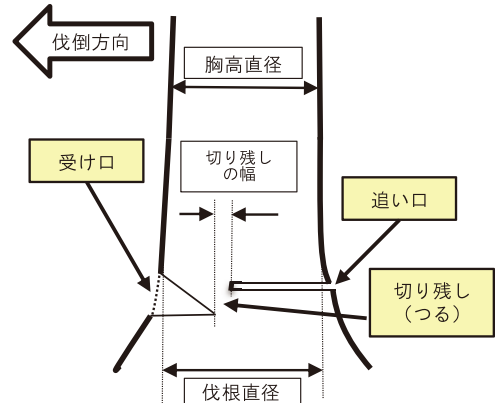
(*) 修繕による集材又は運材作業、木馬運材及び雪そり運材に係る規定を廃止すること。

(公布日: 2019(平成31)年2月12日)

2-(1) 伐木作業における危険の防止（安衛則第477条）関係

- 胸高直径が概ね20cm以上の立木を伐倒するときに死亡災害が大きく増加していることから、伐木作業において「受け口」を作るべき対象を胸高直径が40cm以上の立木から20cm以上のものへと範囲を拡大します。
- 受け口を作るべき作業の場合、適当な深さの「追い口」と、適当な幅の「切り残し(つる)」を確保することを新たに義務付けます。(図1)

(参考) 胸高直径20cm未満の立木は、法令による規制の対象ではないものの、伐木作業に従事する労働者の知識、経験等から、適切に「受け口」、「追い口」、「切り残し」を作ることができる場合には、これらを作ることが望ましい。



(図1) 受け口、追い口等の関係図

2-(2) かかり木の処理の作業における危険の防止（安衛則第478条）関係

- かかり木の処理の作業(図2)に従事する労働者以外の労働者が、放置されたままのかかり木に気付かず接近し、当該かかり木の落下により被災した事例を踏まえ、かかり木を放置することなく、処理の作業を速やかに行うことを新たに義務付けます。
- やむを得ない事由により、かかり木の処理を速やかに行うことができない場合、当該処理の作業に従事する労働者以外の労働者がかかり木に接近することがないように立入りを禁止します。
- 死亡災害が多く発生している「かかり木にかかっている立木を伐倒」(図3)及び「かかり木に激突させるためにかかり木以外の立木を伐倒(浴びせ倒し)」(図4)することを禁止します。

〈注意〉「かかっている木の元玉切り」(かかった状態のまま元玉切りをし、地面等に落下させることにより、かかり木を外すこと。)(図5)は、今般の改正により禁止されるものではありませんが、かかり木の安全な処理方法とは言えないことに留意してください。



(図2) かかり木の処理



(図3) かかっている立木の伐倒



(図4) かかり木に激突させるためにかかり木以外の立木の伐倒

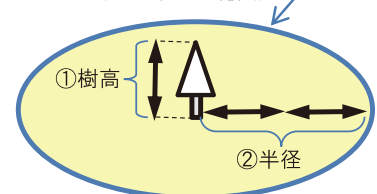


(図5) かかっている木の元玉切り

2-(3) 立入禁止（安衛則第481条）関係

- 従来から、造林等の作業場所の下方で、伐倒木等の木材が転落、滑落するおそれのあるところには、労働者の立入りを禁止していますが、新たに、かかり木の処理の作業場所の下方でも、かかり木の転落、滑落するおそれがあることから、労働者の立入りを禁止します。
- 立木の伐倒の作業に従事していない労働者が伐倒木に激突される災害が発生していることから、諸外国の基準を踏まえ、立木の樹高の2倍に相当する距離を半径とする円の内側において、当該立木の伐倒の作業に従事する労働者以外の労働者の立入りを禁止します。(図6)

②半径が①樹高の2倍の距離の円
(立入禁止の範囲)



(図6) 立入禁止の範囲

〈注意〉 立木を伐倒するときには、周辺の全ての労働者に合図によりの確に情報伝達を行い、立入禁止の範囲から、伐倒作業に従事する労働者以外の労働者が退避したことの確認を徹底してください。

厚生労働省ホームページ(<https://www.mhlw.go.jp/index.html>)



伐木作業等の労働災害防止

令和元年 業種別労働災害発生状況(休業4日以上)

船橋労働基準監督署

区 分 業 種		平成29年・30年比較 (確定)				平成30年・令和元年同期比較 (令和元年5月末現在)			
		29年	30年	増▲減	増減率	30年	元年	増▲減	増減率
製 造 業	食料品製造業	120	123	3	2.5%	39	30	▲9	-23.1%
	繊維・繊維製品製造業	1	1	0	0.0%	0	1	1	0.0%
	木材・木製品製造業	5	1	▲4	-80.0%	0	1	1	0.0%
	家具・装備品製造業	0	2	2	0.0%	1	1	0	0.0%
	紙製造・印刷・製本業	11	9	▲2	-18.2%	6	2	▲4	-66.7%
	化学工業	10	10	0	0.0%	6	1	▲5	-83.3%
	窯業・土石製品製造業	12	11	▲1	-8.3%	2	1	▲1	-50.0%
	鉄鋼・非鉄金属製造業	16	11	▲5	-31.3%	4	2	▲2	-50.0%
	金属製品製造業	52	49	▲3	-5.8%	16	19	3	18.8%
	一般機械器具製造業	5	9	4	80.0%	3	4	1	33.3%
	電気機械器具製造業	5	4	▲1	-20.0%	0	1	1	0.0%
	輸送用機械器具製造業	3	8	5	166.7%	2	1	▲1	-50.0%
	電気・ガス業	4	3	▲1	-25.0%	1	1	0	0.0%
	その他の製造業	13	27	14	107.7%	5	4	▲1	-20.0%
小 計		257	268	11	4.3%	85	69	▲16	-18.8%
鉱 業		0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
建 設 業	土木工事業	27	38	11	40.7%	13	4	▲9	-69.2%
	建築工事業	68	66	▲2	-2.9%	15	19	4	26.7%
	木造家屋建設業(内数)	9	9	0	0.0%	4	2	▲2	-50.0%
	その他の建設業	22	25	3	13.6%	5	11	6	120.0%
	小 計	117	129	12	10.3%	33	34	1	3.0%
運 輸 交 通 業	鉄道・水運業	6	4	▲2	-33.3%	2	1	▲1	-50.0%
	道路旅客運送業	19	24	5	26.3%	4	11	7	175.0%
	道路貨物運送業	232	213	▲19	-8.2%	70	69	▲1	-1.4%
	小 計	257	241	▲16	-6.2%	76	81	5	6.6%
貨 物 取 扱 業	陸上貨物取扱業	64	73	9	14.1%	24	21	▲3	-12.5%
	港湾運送業	4	4	0	0.0%	1	2	1	100.0%
	小計	68	77	9	13.2%	25	23	▲2	-8.0%
農 林 業		2	3	1	50.0%	1	0	▲1	-100.0%
畜産・水産業		0	1	1	0.0%	0	0	0	0.0%
そ の 他 の 事 業	商 業	218	229	11	5.0%	73	63	▲10	-13.7%
	小売業(内数)	149	163	14	9.4%	49	47	▲2	-4.1%
	新聞販売業(内数)	18	20	2	11.1%	7	4	▲3	-42.9%
	通信業	33	25	▲8	-24.2%	11	10	▲1	-9.1%
	医療保健業	31	35	4	12.9%	6	4	▲2	-33.3%
	社会福祉施設	75	118	43	57.3%	18	22	4	22.2%
	接客娯楽業	203	235	32	15.8%	62	86	24	38.7%
	旅館業(内数)	12	19	7	58.3%	11	3	▲8	-72.7%
	飲食店(内数)	32	35	3	9.4%	6	11	5	83.3%
	ゴルフ場の事業(内数)	11	17	6	54.5%	5	4	▲1	-20.0%
	清掃・と畜業	61	103	42	68.9%	31	30	▲1	-3.2%
	ビルメンテナンス業(内数)	29	55	26	89.7%	14	16	2	14.3%
	派遣業	3	0	▲3	-100.0%	0	2	2	0.0%
	警備業	12	18	6	50.0%	4	6	2	50.0%
	上記以外の事業	63	63	0	0.0%	20	17	▲3	-15.0%
小 計		699	826	127	18.2%	225	240	15	6.7%
総 合 計		1400	1545	145	10.4%	445	447	2	0.4%

※ 労働者死傷病報告(休業4日以上)の統計である。(死亡災害を含む。)

令和元年統計は、令和2年3月末受理をもって確定する。

船橋労働基準監督署管内は、船橋市、市川市、習志野市、八千代市、鎌ヶ谷市、浦安市、白井市である。

千葉県支部通常総会

令和元年度 通常 建設業労働災害防止協会千葉



令和元年度建設業労働災害防止協会千葉県支部通常総会が、6月6日、京成ホテル・ミラマーレに於いて開催されました。伊藤副支部長の開会の辞に続き、前田泰弘支部長よりご挨拶を頂きました。次いで、ご来賓の高橋秀誠・千葉労働局長様よりご祝辞を頂いた後、議案審議が行われ、平成30年度事業報告・収支決算・監査報告（第1・2号議案）、令和元年度事業計画案・収支予算案（第3・4号議案）、役員改選案（第5号議案）が全会一致で可決承認され、石神副支部長（当分会長）の閉会の辞をもって総会は無事終了しました。

【令和元年度 事業計画（第3号議案）より】

昨年度の千葉県建設業界で発生した労働災害における死亡者数は、10名と前年と同じ過去最少記録に並んだ。

平成30年4月にスタートした「第13次労働災害防止5ヶ年計画」は、建設業について死亡災害を平成29年に比べ計画終了までの5年間で15%以上減少させる計画となっている。前回計画の5年間で、千葉県内建設業における死亡災害については目標を達成しており、今回も引き続き計画達成に向け、重篤災害防止対策を充実させる必要がある。

過去3年間の千葉県内建設業における死亡

災害の特徴としては、下記3点が挙げられる。

① 墜落・転落災害を始め三大災害関係及び交通労働災害の多発

過去3年間の死亡災害総数32件のうち、墜落・転落災害が16件（50.0%）を占め、次いで建設機械関係6件（18.8%）、崩壊倒壊2件（6.3%）などとなっている。また交通事故も4件（12.5%）発生しており、改めて三大災害並びに交通労働災害対策の必要性を痛感させられる。

② 死亡災害に占める非会員事業場割合が依然として高率

3年間32名のうち26名（81.3%）が非会員事業場（元請・下請含む）である。今後、県内建設業での重篤な労働災害防止を推進するには、非会員事業場の解消が急務と考えられ、また重篤な災害が発生した非会員事業場については、支部・分会が連携し、行政等関係者の協力を得て加入促進に取り組むものとする。

③ 改修等工事（改修・更新・解体工事）における災害発生が多発

改修等工事における死亡災害が、過去3年間に18件発生している（56.3%）。

改修等工事は、施工に係る制約が多く、技術的にも難易度が高いことから、施工計画作成時のリスクアセスメントの充実を図る必要がある。

今年度の基本方針

- ① 「墜落・転落災害」を中心とした三大災害防止対策
 - ② 交通事故・転落事故防止対策
 - ③ 改修等工事も含め、施工計画と一体となったリスクアセスメントの実施
 - ④ 作業従事者のメンタルヘルスを含めた健康の保持・増進
 - ⑤ 会員加入の促進
- 以上

建設現場安全パトロール



年末の12月6日(木)、雨天の中、京葉分会が3班に分かれ、建設現場安全パトロールを行いました。

私は、2班(船橋地区)の担当で、船橋労働基準監督署の高城専門官と分会安全指導員9名で現場へ向かいました。

最初の現場は、ショーボンド建設株式会社千葉支店が施工する「新港大橋橋梁補修工事(その3)」で、橋梁のひび割れ補修、表面含浸、橋梁塗装を施す工事でありました。

橋梁のひび割れ補修、表面含浸工はすでに完了し、当日は、塗装塗替え工事を行っていました。作業員数は14名でかなり狭い中で作業を行っていました。(上記写真)

現場事務所にて安全関係の書類をチェックした後、現場のパトロールを行いました。

作業は、塗装下地の鉛を剥がし塗装を5回塗替えるというもので、既存橋梁と足場との空間が1mも無い所で行っていました。常に、しゃがんだ状態で作業をするので体への負担が大きく、2時間作業し30分休憩をとるという内容で行っていました。

また、鉛を扱うという事で、特殊マスク(電動ファン付き呼吸用保護具)、防護服で身を包んで作業を進めていました。

我々もまた、鉛の影響が無い所からの現場パトロールとなり、しゃがんだ状態での作業がどれだけ大変であるか実感しました。

鉛を扱い、常に体に負荷をかける状態での作業であるので、作業員の方々の健康管理には十分に気を付けてほしいとの意見が多数ありました。

続いての現場は、株式会社ダイフクが施工する「国分グループ本社(船橋) 船橋日の出 冷凍倉庫計画」で、無人で搬入・保管・出庫が出来る冷凍倉庫を製造するものでありました。

工事は既に完了し、最終検査に入っていました。作業員数は7名で機器類の稼働状況を確認していました。

また、作業所内は、すでに綺麗にクリーニングされており、土足厳禁の状態で我々も靴を履きかえて中に入りました。

冷凍倉庫内は常に-25℃に設定され食材等が保管されるそうです。



事業所見学

～山梨県立リニア見学センター～

平成30年12月11日火曜日に建災防千葉県支部京葉分会の事業所見学会が行われ、石神京葉分会長を含め、会員30名と多くの方々に参加していただきました。

早朝よりJR西船橋北口ロータリーに集合し、バスにて見学センターのある山梨県都留市へと向かいました。

山梨県立リニア見学センターは、日本で唯一時速500kmで走行する超電導リニアを



＜試験走行中のリニア＞

間近で見ることができる施設です。

新設された「どきどきリニア館」の1階入口には、2003年に世界最高速度581kmを記録した試験車両の実物が、シンボルとして展示してあります。

2階は、超伝導体の特性実験の見学のほか、ミニリニアに乗車ができ、磁力浮上、磁力走行が体験できる施設があります。



＜当時の世界最速記録を樹立した実車両展示＞

3階は、リニア中央新幹線開通後の山梨を舞台とした大型ジオラマがあり、未来の山梨県が映し出されています。

見学ラウンジから、リニアの走行試験を見学しましたが、そのスピードはまさに圧巻でした。現在、新幹線で東京一名古屋間が約1時間35分かかっているものが、リニアが開通することで40分に短縮されるということです。近い将来、リニアが開通し乗車できるのを楽しみにしたいです。

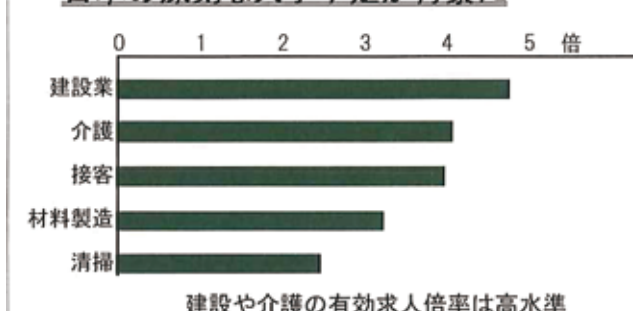


＜見学後、記念撮影＞

建設業の経営戦略 外国人建設就労者受入について

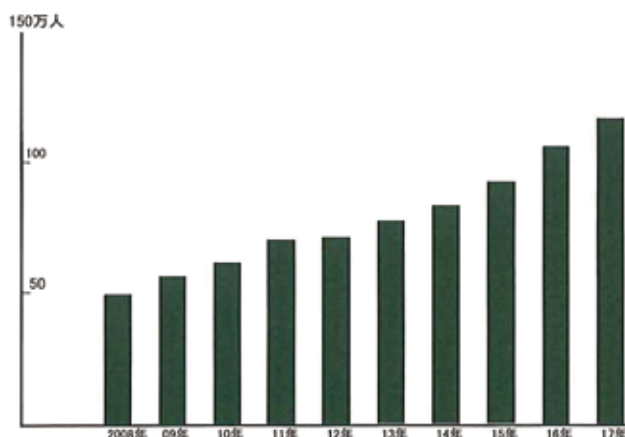
外国人労働者は、慢性的な人手不足が問題視される日本にとってなくてはならない存在です。平成30年12月に改正出入国管理法が成立したことにより今後さらに外国人労働者は増加し、あらゆる企業の支えとなる可能性が十分に考えられます。

日本の深刻な人手不足が背景に



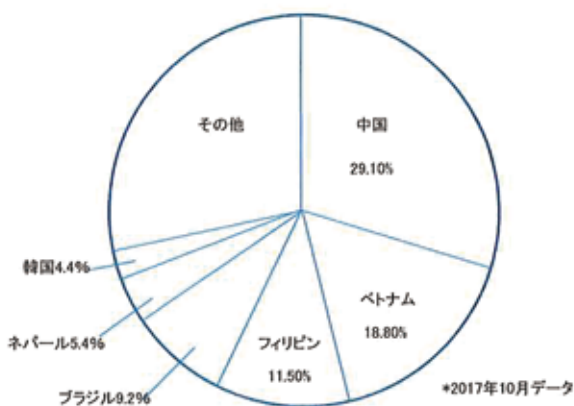
外国人労働者が急増してきた背景には、深刻な人手不足がある。出入国管理法改正案は、新在留資格「特定技能」を設けるのが柱。建設や介護など14業種に限定して外国人労働者を受け入れる。

5年で倍増、127万人 全就業者の2%



現在、日本で働く外国人労働者は約127万人。5年前からすると、ほぼ2倍に増えている。全就業者に占める割合は2%くらいだが、コンビニや飲食店、工場などで働く外国人を見ることがとて多くなった。

国籍別外国人労働者



国籍別では中国が全体の3割の37万人でトップ。働く業種は、製造業から小売り、飲食店など幅広い。次いで技能実習生が多いベトナムで24万人。3位にブラジル12万人と続く。また、5年前と比較すると、ベトナム人の就労者が9倍伸びた。

外国人労働者は、企業の人手不足を解消する上で必要不可欠な存在。ただし、外国人労働者を獲得するには国際的な人材獲得競争に打ち勝つためには外国人労働者が働きやすい環境を準備し整えていくことも必要不可欠です。

企業ができる受け入れの準備

- ①習慣や文化の違いを理解しておく
- ②就労ビザの取得が可能か調査する
- ③精神面での配慮も考えておく
- ④外国人労働者のキャリアプランも明確に
- ⑤外国人労働者雇用労務責任者を選任する

外国人労働者の労働環境はまだ劣悪である。労働基準法が全く機能していない職場も多い。これは政府が、外国人と共生していこうと強くは考えていないことが一因ではないか。だが、多彩な文化を持つ人々の共生はわが国日本社会を豊かにすることは明らかである。

どいどいの

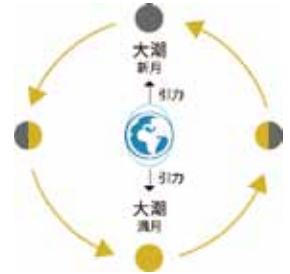
ちょっと、ここだけ(?)の話

Vol. 1

国際ウェルネス協会公認セルフケアマスターどいどいをご紹介します「ちょっと、ここだけの(?)の話 vol. 1」

今回は【身体の器官と1日のリズム】のお話です。

自然界にあるものは、常に一定のリズムで変化しており、日が昇り沈むまでの一日のリズムや、月の満ち欠けの周期、変わりゆく季節の流れなど、これらは科学的に説明をすることは出来ても、科学の力でそれを止めることはできません。月の引力は、海面に影響を及ぼし、塩の満ち引きを作り出します。地球の約70%は水。私たち人間の水分量も約70%。月が人の身体に影響を与えるということは、少なからずとも皆さんご存知ではないでしょうか？例えば、満月や新月の時は浮腫みやすかったり、出産が多かったりします。満月の日は重大事故や凶悪事件が多く感情が高ぶりやすく、衝動的な行動をとってしまうことが



原因だと考えられています。また、オーストリアのチロル地方では、一般的な基準から見れば、きわめて不健康な生活をしながらも病気もせず長生きの人が多い地では代々「月のリズム」とともに生活する方法が言い伝えられてきています。月のバイオリズム同様、身体器官もそれぞれ一定のリズムに従っており、1日24時間の間によく働く時間(高期)と働きが休む時間(低期)がそれぞれ1度ずつあり、この2つは連続していて、毎日2時間、それぞれの器官は集中的に働き、そのあとすぐに2時間休んで回復すると考えられてきました。今回は、その身体の器官と1日のリズムをご紹介します。

昼食後13時～15時にかけて眠くなった経験はありませんか？この時間は、心臓が休息するために血液循環が鈍るだけでなく、消化運動の中心となる小腸が残りの器官に休むように促すからです。シエスタという長い昼休みを取る国がありますが、それは実に意義のある習慣だということがわかります。⑩肝臓は夜中の1時～3時(高期)、3時～5時(低期)とされています。この時間のニコチンとアルコールの摂取は一番身体に負担をかけるので避けたほうがいいでしょう。肝機能障害に苦しむ人は、女性より男性の方がはるかに高い比率となっているのは、夜中のアルコールとニコチン接種が原因かもしれません。飲酒機会の多い男性の方は、夜中1時までには飲酒を終わりにすることをおすすめします。⑧エネルギーの蓄積全般の21時～23時は中国では「3倍暖かい時間」と呼ばれています。この時間帯に人より寒がったり、暖房をつけた部屋でないと寝付けけない人は、何らかの身体的または肉体的なバランスが崩れている可能性があります。食物は小腸におよそ2時間、大腸には約20時間残ります。下痢をするのは、消化に問題があるからですが、便秘は大腸での水分吸収時間が長すぎるため、朝5時～7時のあいだに、白湯を一杯飲むかドライフルーツを摂取すると効き目があるとされています。身体の器官は自律神経によってコントロールされています。ストレスや不規則な生活によって自律神経が乱れがちになりがちな現代ですが、自然のリズム、月のリズムを知り、自律神経を整え、身体の器官のバイオリズムを参考に意識しながら生活することが、健康に長生きする秘訣かもしれません。

器官	高期	低期	器官	高期	低期
① 胃	7～9時	9～11時	⑦血液循環	19～21時	21～23時
② 脾臓と膵臓	9～11時	11～13時	⑧エネルギーの蓄積全般	21～23時	23～1時
③ 心臓	11～13時	13～15時	⑨胆のう	23～1時	1～3時
④ 小腸	13～15時	15～17時	⑩肝臓	1～3時	3～5時
⑤ 膀胱	15～17時	17～19時	⑪肺	3～5時	5～7時
⑥ 腎臓	17～19時	19～21時	⑫大腸	5～7時	7～9時

◆押さない・揉まない・引っ張らないが理念のさとう式リンパケア。その日々の自己ケアに興味のある方は国際ウェルネス協会公認セルフケアマスターどいどいまでお問い合わせください。 どいどい doidoi2018@icloud.com

平成を流行語で振り返ってみよう!!(スポーツ編)

- ・平成3年(1991年)「若貴」

大相撲の人气が沸騰した年でした!その人気を牽引していたのが「若貴ブーム」を巻き起こした、貴花田・若花田の兄弟力士の活躍でした。私も当時は相撲が大好きで毎日相撲中継を見ていました。曙や武蔵丸との名勝負も皆さんの記憶に残っているのではないのでしょうか?現在は日本人横綱が不在ですので、令和初の日本人横綱が早く誕生して欲しいですね!

- ・平成7年(1995年)「NOMO」

最多勝や沢村賞を受賞するなど、日本球界を代表する投手として近鉄バッファローズで活躍していた野茂英雄氏。平成7年にアメリカ大リーグへと渡るとトルネード投法から繰り出されるフォークを武器に三振の山を築きました!現在は多くの日本人選手が活躍していますが、その道を切り開いたのが野茂氏の活躍でした。「NOMO」としてグローバルに注目されました。

- ・平成8年(1996年)「自分で自分をほめたい」

バルセロナオリンピックに続き、アトランタ大会でもメダルを獲得した有森裕子氏の言葉です。「自分で自分をほめたい」という言葉は本当に色々な苦勞を乗り越え、目標を達成した人にしか言えない言葉だと思います。私もいつかこの言葉を言えるような大きな目標を達成したいものです。

- ・平成12年(2000年)「最高でも金最低でも金」

田村亮子氏(現:谷亮子氏)が2000年のシドニーオリンピックでの目標を報道陣に問われた際に答えたのがこの言葉でした。その後、柔道48キロ級で見事に金メダルを獲得し、驚きと感動を日本国民に与えました。この大会では、柔道100キロ級の井上康生氏やマラソンの高橋直子氏なども金メダルを獲得しました。

- ・平成16年(2004年)「チョー気持ちいい」

この年のアテネオリンピックで100m・200m平泳ぎで金メダルを獲得した北島康介氏。レース後のインタビューでのこの言葉が話題になりました。まさかインタビューで自然に出た言葉がこんなに浸透するとは誰も予想しなかったことでしょう。



発見!**あなたの近くの素敵なお店**

今回は東京メトロ東西線の浦安駅から
徒歩2～3分程の所にある和風居酒屋
『旬の食卓 富来家』をご紹介します。

店内は、カウンター席・テーブル席・
掘りごたつ座席があり、ゆったりと
広々として落ち着いたとても良い雰囲気。
地元でも、魚を食べたいなら『富来家!』と
呼び声も高いお店だけあり、
この道30年以上の店主が、旬なお魚を厳選し
仕入れ新鮮なうちにさばくので季節ごとの
味を堪能できます。
お刺身は、驚くほど分厚く食べ応えがあり、
これを食べるためだけに来ても良いくらい!
魚料理以外の肉料理・ご飯物・麺類
もありメニューが豊富です。

土鍋でご飯と一緒におかしら付きの鯛を
炊き込んだ『鯛めし』も絶品!!

また、金・土のみやっているランチで、
1日限定5食、680円の本まぐろ丼にも注目。
他にも、新鮮なモツとニラが入った
特製もつ鍋と鍋料理も豊富なため、
春夏秋冬問わず楽しめます。
貴重な日本酒もあり、150種類を超える
本格焼酎の数々も料理の味わいを
高めてくれます。
店員さんも皆、気さくであたたかく常連
さんが足しげなく通うお店。
浦安にお越しの際には、
是非、『富来家』へお立ち寄りください。
オススメです!!



旬の食卓 ^{ふく}^く^や
富来家

営業時間 : 月～土 17:30～0:00
ラ ン チ : 金・土のみ11:30～14:00
定 休 日 : 毎週日曜日
住 所 : 浦安市当代島1-3-8
電 話 番 号 : 047-354-5202



前回応募問題（3手詰）

[illegible]

ヒント◎詰め上がりが妙味

解答 ■ 4 三金 □ 同桂 ■ 3 四飛まで

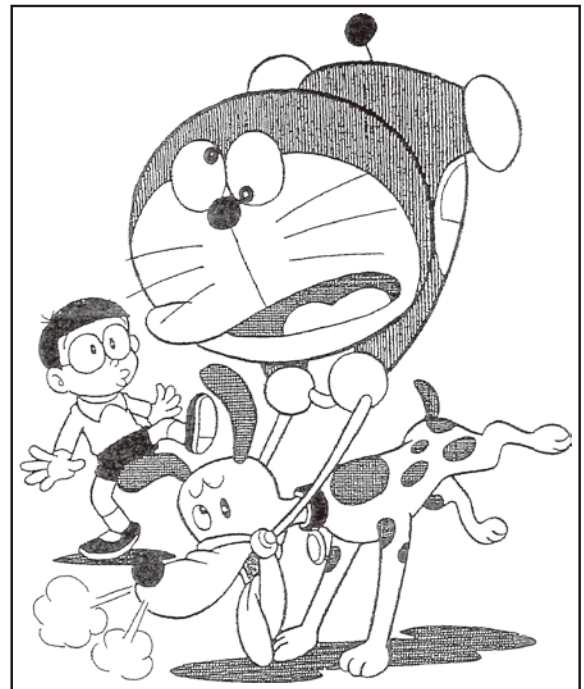
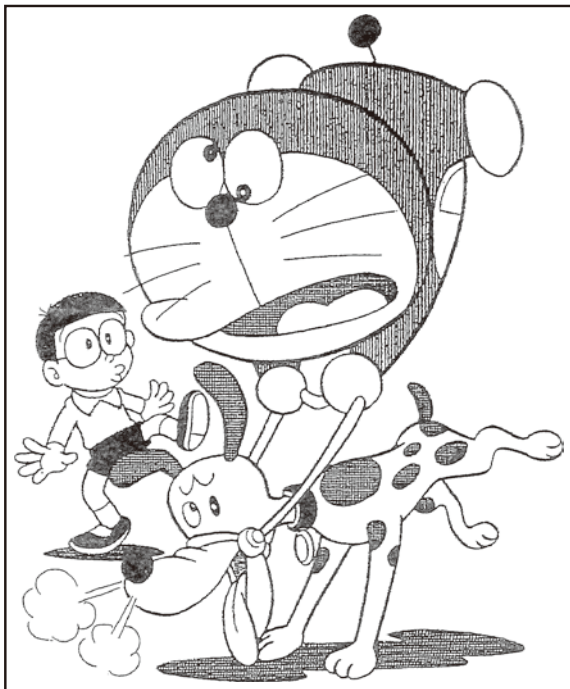
今回応募問題（3手詰）

[illegible]

ヒント◎上部に逃がさぬように



左右の絵でちがっている所を3箇所さがして下さい。



正解者の中から抽選で5名の方に1,000円分のクオカードをプレゼントします。

送り先：〒272-0823 千葉県市川市東菅野5-13-21 京葉建設会館内
建災防京葉分会まで FAX 047-338-0889

締 切：令和元年9月1日（日）までにFAXまたは郵送で送ってください。

回答者

• 住 所: 〒

・会社名：

• 氏 名:

ハタケの雑感 スポーツ編

オービックシーガルズ (OBIC SEAGULLS)



千葉県習志野市に活動拠点を構える、アメリカンフットボールのクラブチーム。1996年にライスボウルを制し、初の日本一。2010年秋から2012年には国内公式戦で37連勝し、3年連続日本一。2013年春に連勝は途絶えるも、秋に再び日本一になり、史上初の4連覇を飾った。通算7度の日本一と4連覇、8度の社会人日本一と4連覇はすべて、史上最多の記録となっている。地域に根差し、多くの方に親しまれ、スポーツを通して地域に貢献するチームを目指し、ホームタウン活動にも力を入れている。3連覇を果たした2013年1月、「習志野市民栄誉賞」を受賞。選手たちはユニフォームに習志野市のワッペンをつけて戦い、毎年、リーグ戦の1試合をホームゲームとして同市で開催している。2019年のホームゲームは、9月22日（日）@第一カッターフィールド（秋津サッカー場）11:00キックオフ予定。地元で観られる貴重な機会となっているので、是非ご来場を。試合前や試合後には、お楽しみイベントも実施予定。
※チケット情報などの詳しい情報は、オービックシーガルズの公式HPをご覧ください。（ホームゲームの情報は、8月上旬頃掲載予定をしています。）

<http://www.seagulls.jp>

事務局からのお知らせ

行事予定

- 9月12日 全国労働衛生週間実施要領説明会
- 9月26日 第56回全国建設業労働災害防止大会in福岡
～28日（福岡国際センター）
- 11月22日 第24回京葉分会労働災害防止大会
（浦安ブライトンホテル）
- 12月5日 第2回 建設現場パトロール
- 12月10日 管外優良事業場の視察
- 1月24日 安全祈願祭（令和2年）



ホームページURL

www.kensaibo-keiyo.com

E-mail

kaikan2@bz04-plala.or.jp

発行所 建設業労働災害防止協会
千葉県支部京葉分会
市川市東菅野5-13-21 京葉建設会館内
TEL.047-338-0888

発行人 石神 信夫
編集責任者 平山 知太